

## 長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	4	-	事業名	人事事務事業	担当部課	市長公室人事課
------	---	---	-----	--------	------	---------

基本情報	総合計画	基本方針	5	みんなの力を結集する自治と協働のまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	6	住民の要請に的確に対応する職員を育てる	款	2	総務費
		施策の進め方	1	公平で透明性のある人事評価制度の施行	項	1	総務管理費
	まちづくり 行程表	フラッグ	-		目	4	人事秘書管理費
		政策分類	-		大事業	3	人事事務事業
	その他(関係法令、要綱等)		地方自治法、地方公務員法				
事業開始の背景、経緯等		職員の雇用、給与支給等の管理を行う。					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 適正な人事管理、運営を図り、職員の生産性や市民サービスの向上を図る。また、給与事務の効率化のため、常勤一般職員及び特別職員の例月給与・期末勤勉手当等の電算処理を行う。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 職員					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 職員の定数、給与支給を適正に管理する					
	事業を構成する事務事業	① 人事事務事業	現状維持	④			
		②		⑤			
		③		⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	事業費(A)	千円	決算	予算		10,446	8,040	7,331
決算					9,513	7,464	6,085	
人件費(B)	千円	決算		-	19,274	20,356		
総コスト(A)+(B)	千円	決算		-	26,738	26,441		

成果推移	成果指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	A 定員適正化計画での定員管理	人	目標		-	434	442	448
実績				423	437	446	468	
B		目標						
		実績						
C		目標						
		実績						
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 定員適正化計画に基づき、職員数の適正管理を目指す。								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 平成26年度に地方公務員法が改正され、人事評価制度を導入、活用することとなり、平成28年度から施行された。消防広域化により、平成30年4月1日より消防職員が一部事務組合へ移行。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 平成27年度から平成31年度を計画期間とする定員適正化計画を基に運用していたが、人口増加等を踏まえ、平成29年度に定員適正化計画の見直しを行った。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 職員の年齢構成にバラツキが見られる。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 継続的な任用を確保するため、職員募集の時期、PR方法の検討を進める。 適正な人員配置を実現するため人事評価を活用し、評価結果の分析を引き続き進めていく。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 平成29年度に定員適正化計画を見直したため、平成34年度までの定員管理を徹底していく。

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

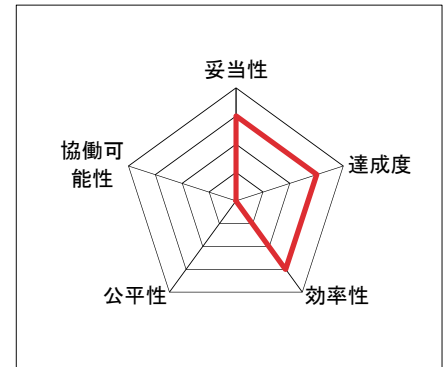
		事業名		人事事務事業										
番号	①	事務事業名	人事事務事業		款	2	項	1	目	4	大事業	3	中事業	1
事務事業の期間	事務事業開始年度		-		終了（予定）年度	-								

## 1. 事務事業の目的

対象 手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)	職員の採用、給与、手当の支給、人事評価の実施。
	意図	(対象をどのような状態にしたいか) 職員の定数、給与支給を適正に管理する。

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	-
協働可能性	-



## 2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算 決算		10,446 9,513	8,040 7,464	7,331 6,085	9,836
<事業費の主な内訳（当該事業年度）>							
① 人事給与システム保守委託						1,176	千円
② 人事給与システム使用料						554	千円
③ 人事評価分析業務委託						297	千円

## 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)  
採用試験の募集を1か月前倒しで実施したことにより、応募の少ない技師についても、応募者を確保できた。

## 【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)  
-

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
職員数	人	目標	-	434	442	448	413
		実績	423	437	446	468	
		目標					
		実績					

<備考：活動の概要（当該事業年度）>  
 ・職員採用試験（6月、12月の2回実施。新規採用職員21人）  
 ・人事評価（正規職員と再任用職員を対象）と評価結果分析を実施  
 ・退職、再任用管理（退職者14人、再任用職員24人）  
 ・給与、手当の支給

## 7. 今後の方向性

現状維持

## 【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)  
平成29年度と同様、平成30年度においても、愛知県内市町村の統一試験日より前倒しにて採用試験を実施していく。

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)  
近年、人手不足から売り手市場となっており、民間企業での採用活動が早まっている。  
平成28年度より、人事評価の結果を翌年度の給与に反映させている。

## 5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>  
  
 ※新規行政評価対象  
  
 (何をどのような状態に改善したのか)  
 -